

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	田尻地域福祉事業所 あぐりきっず			
○保護者評価実施期間	令和6年12月10日 ～ 令和7年12月13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和6年12月10日 ～ 令和6年12月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所での菜園や自然を活かした体験をしていること。	利用児童の食育活動の一環で毎年事業所の庭に作った畑で野菜の栽培を行っている。 自然を活かした活動では、たけのご掘りやリンゴ狩り、川遊び等、様々な体験ができるようにしている。	これらの活動を継続して行えるように、毎年昨年度の反省をして活動がよりよくなるように計画していく。
2	保護者参加行事を行い、保護者同士も交流の場を設けていること。	保護者の方が一緒に参加できる行事、活動を計画し、保護者の方同士が交流できるようにしている。	普段の姿を知ってもらえたり、職員との関われる時間にもなるとするため、今後も継続して行っていく。
3	戸外での活動を積極的に行っている。	天候によるが、外に出れるときには戸外での活動、自由遊びを職員と一緒に楽しめるようにしている。	今後は、庭の整備や運動器具を増やすなど、利用児童がより楽しめるような事業所づくりを目指していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	地域の方との交流をまず職員が行っていく。活動の中では地域を回ってみたい、お買い物体験でお店には行くのでそこから交流を増やしていきたい。	季節や長期休みの活動のなかで地域の方と関われる機会を増やしていく。
2	集団活動が多く、個別支援へ力を入れていきたい。	個別課題や個別活動の時間を取っているが、それぞれの下校時間に合わせて行っている。やり方等を整理して行っていく。	下校時間、個別で取り組む時間を確認し、バランスを取って個別支援の時間や内容を充実させていく。
3	今後、あぐりきっずのことを知ってもらふ発信活動に力を入れていく	保護者向けやSNS等での発信活動が定期的に行えていないことが現状。	担当や発信時期を決め、しっかりと定期的に発信し、あぐりきっずでの活動を知る機会を増やしていく。